

市街地における米軍関係者の動向実態調査について

- 1 実施日時 平成18年2月1日(水) 20:00～21:03
- 2 参加者 市側 市長
企画調整部 越後市民安全担当部長
市民安全課 小澤課長
佐藤総括主幹
基地対策課 江指課長
飯田主幹
ほか企画調整部等管理職5名 計11名
横須賀警察署
署長ほか17名 合計29名
- 3 調査地域 別添図面参照
- 4 調査概況
 - 1 小雨模様の天候であり、全体に人通りが少なかった。
 - 2 SPが、ドブ板通りに2人(1組)、汐入駅近くのガード下に2人、基地正門前の横断歩道に2人が警戒中であつた。
 - 3 20:50分頃、本町2丁目11番地付近のレコード店前に、米兵らしき外国人が4人、たむろしていた。
 - 4 米が浜通の人通りは少なく、米兵の姿は見られなかった。
 - 5 ドブ板通りの米兵の姿は少なく、むしろ閑散としていた。飲食店内に米兵らしき客の姿は見られたが、それほど客は多くなく、落ち着いた店内の様子が垣間見れた。
 - 6 20:00に横須賀警察署前を出発し、21:03に警察署前に到着し、終了。
- 5 感想
米軍の給料日であつたにもかかわらず、前述のとおり極めて平穏であつた。
- 6 今後の対応
前回(1月18日)は実態調査の試行という形で行つたが、今回から第1回目として正式調査に入った。
今後も、同様の考え方で当分の間、週1回のペースで行う予定である。